

# 平成28年度 はなっこ事業計画書

## 1 施設運営方針

### 基本方針

「安心」「自信」「自由」をキーワードに大切な子どもたちの成長を願う。

#### 「安心」

子どもたちが安心して遊び学べ、保護者の方に安心して預けてもらえる保育園作りをします。近隣の方や行政をお願いして、子どもたちが安心して暮らしていける環境づくりに取り組みます。

#### 「自信」

子どもたちが、自分の意見やアイデア、計画などを自分らしさの中で考えてもらいたい。そのためには、子どもたちにさまざまな経験の中で自信を持たせることが必要だと考えます。ほめる、認める、一緒に考える、遊ぶ、学ぶの中で、一人の人間として自信を持つ子どもたちへ育てていきます。

#### 「自由」

幼児期の子どもたちは、社会性を身につける意味で大切な時期です。自信を持って個性を発揮する一方、のびのびと自由にするためには、他の人の存在や自由も認めなければいけません。それが「思いやり」でありとても大切な事だと伝えていきます。

## 2 児童の処遇方針

### ア 保育理念

子どもの心を大切に、常に子どもの視点に立って接していくなかで、子ども達が安心して生活できること(満足)、そして一人一人の子どもがもっている限りない可能性を、子ども自身の力で開花させていくこと(感動)、いろいろな体験を通して、のびのびと過ごし、「生きる力」を身につけること(生きがい)。これらの保育実践を職員がそれぞれの役割を担い深い愛情とたゆまぬ努力により実践すること。また豊かな創造性を持った子どもたちの健全育成を使命とし社会貢献にあたります。

### イ 保育方針

「子どもは子どもらしく」を基本に、のびのびとした環境の中で、想像力、集中力を養います。心豊かな成長を願い、メリハリのある保育を目指します。

- ・心と体の健やかな成長を願う。
- ・豊かな感性を養う。
- ・人を思いやる優しい心を養う。
- ・のびのび想像する力をつける。
- ・基本的な生活習慣を身に付ける。

### ウ 保育計画

4～6月	・学童での環境に慣れ、保育者やいろんな学年の友達に親しみを持つ。 ・学校生活を中心におき、学童では安心感、開放感を感じて過ごす。
7～8月	・夏休みにしかできない色々な経験・体験をとおして自立心、想像力を養う。 ・夏休みの期間、学童での1日を規則正しく過ごす。
9～11月	・夏休みから2学期へ、生活リズムと気持ちのスムーズな切り替えを図る。 ・学校行事に合わせて体調管理に配慮する。 ・みんなで一緒に何かをする楽しさを知る。
12～2月	・寒さに負けない身体を作り、風邪やインフルエンザにかからぬよう健康に留意する。 ・みんなで企画を考え、一緒に取り組み、楽しむことで友達の大切さや、相手の立場で考える優しい心を養う。
3月	・一年間を振り返るとともに、進級することに期待希望を持ち楽しく生活する。

## エ 保育目標

開所初年度となりますが、子どもたちが安心してのびのびと過ごせる暖かい環境づくりを心掛けていきます。その中で重点目標は以下の通りです。

- ・はなっこで居場所を見つけ、安心して登所することができる。
- ・異年齢の友達と共に過ごし、遊びや勉強をすることで、教えたり教えられたりしながら思いやりの心を育てる。
- ・はなっこでの生活や遊びを自分たちで考え、実行していくことで自立心、想像力を身につける。

## 3 日課・年間予定

### ア デイリープログラム

	通常授業時の月曜日～金曜日	授業休業日の月曜日～金曜日	土曜日
8時			
9時		順次登所 宿題	
10時		自由時間	
11時			
12時		昼食 休憩	
13時	順次登所（下校時間） 宿題		
14時	おやつ	自由時間	
15時		おやつ	
16時	自由時間	自由時間・宿題	
17時	集団降所	集団降所	集団降所・保育終了
18時	順次降所（お迎え）	順次降所（お迎え）	
19時	保育終了	保育終了	

### イ 年間プログラム

学童での生活が単調なものにならないように七夕まつり、お泊りキャンプ、クリスマス会、お正月お楽しみ会などの行事を取り入れていきます。日本の四季・古来の伝統などを肌で感じてもらいます。また、各行事をみんなで一緒に作り上げていくことで、団体での連帯感も養います。

## 4 健康管理

「よく遊び」「よく学び」「よく食べて」「よく眠る」。この全てを行うことにより、健康に成長していくと考えます。身体・心の変化の早期発見に努め、学童での生活が健康に送れるよう援助します。

## 5 給食

質や量のバランスを考えた献立を作成します。季節の素材を積極的に取り入れ、できるだけ地元の食材を利用し、嗜好に富んだ食事を提供します。

保護者や医師と連携してアレルギー除去食も提供します。世界の料理、郷土料理、絵本の料理、バイキング料理を提供することで、食事をするというより「食事の時間を楽しむ」環境作りを行います。

## 6 地域とのかかわり

町内と相互理解を図り、地域と一体となって子どもの健全育成に貢献します。

- ・町内会の行事には積極的に参加し協力します。
- ・近隣の小学校とも連絡を密にし、学童保育利用児童をともに支える体制作りに努めます。
- ・保育園周辺でクリーン活動(町内美化運動)を行います。

- ・交通安全週間に交通マナーを地域の方にPRします。

## 7 防災、安全・衛生管理

### ア 防災訓練

保育中におけるさまざまな災害に対して、全職員が速やかに対応できるようにはな保育園と連携して訓練を行います。

### イ 健康診断

職員に対して、3月に健康診断を実施します。

## 8 職 員

### ア 資質向上

専門職としての自己研鑽に努め、情報交換を図りながら互いの資質向上に努めます。施設外研修などにも積極的に参加し自己の力量の向上に努めます。またはな保育園と連携した職場内研修を通じ全職員のモチベーションアップに努めます。

### イ 職員確保

保育士を確保するため、保育士課程校と協力体制を執ります。

### ウ 各種会議

必要に応じてはな保育園と連携して実施します。

### エ 福利厚生

JTB福利厚生サービスに加入

### オ 一般事業主行動計画

次世代育成支援として次の項目に取り組みます。

- ・年次有給休暇の取得促進
- ・「家族参観日」の開催